

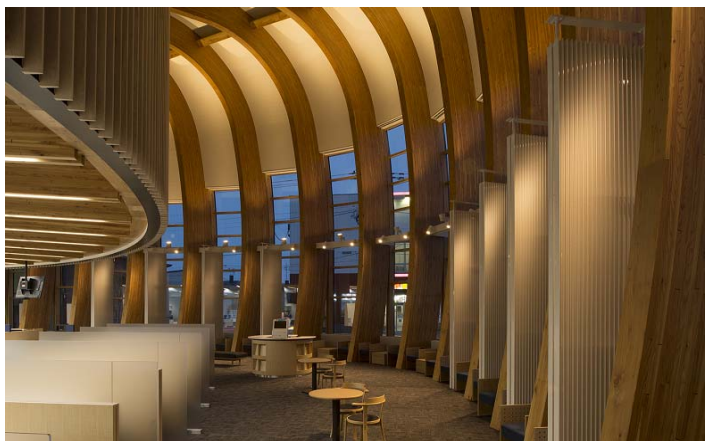
◎ 事務所・店舗

北海道

作品番号：046

北見信用金庫紋別支店

- 所在地：北海道紋別市幸町
- 設計者：菅原 秀見（北海道建築士会）
- 勤務先：株式会社 北海道日建設計・設計室
- 施工者：北栄・五十嵐・鈴木・北一共同企業体
- 建物用途：事務所・店舗
- 構造・階数：木造一部鉄筋コンクリート造 2階
- 敷地面積：1,584.6
- 建築面積：686.7
- 延床面積：1,141.55
- 施工：平成26年4月10日



北見信用金庫紋別支店は、かつての紋別信用金本店ということもあり、西オホーツク地域の拠点店舗として位置付けられている。この背景から移転新築にあたり、地域の中核としてプロジェクトそのものが地域の産業に寄与すべく計画された。紋別市は地域の大部分が森林であり、近年は周辺の市町村を含む紋別西部流域で森林認証に取り組み、林業再生を先導している都市でもある。このような背景から、地元材を含む道産材の活用による木構造に取り組むこととした。一方紋別市の気候は、冬期の厳しい寒さに対し、夏期はそれほどの猛暑にはならず、過ごしやすい環境にあり、自然エネルギーを活用できる機会に恵まれた。立地条件はかつて鉄道があったところの駅前で、現在もバスターミナルの向かいにある、まちの中心部に位置しており、利便性の高い場所である。これらの条件から ①まちの産業を活かす ②まちの交流拠点づくり ③まちの環境を活かす を目指して計画された。

◎ 事務所・店舗

東京都

作品番号：003

CC4441

- 所在地：東京都台東区鳥越
- 設計者：早川 友和（東京建築士会）
- 勤務先：早川友和建築設計事務所
- 施工者：株式会社シー・スリー・デザイン
- 建物用途：事務所・店舗
- 構造・階数：木造2階
- 敷地面積：54.59
- 建築面積：28.22
- 延床面積：36.66
- 施工：平成25年9月2日



広く世界で流通する海上コンテナは、建築基準法が要求する建材のJIS規格でないため、そのものを構造と評価することが出来ません。そのため、コンテナハウスは被災地等で仮設として取り扱ってもらう以外、新たに作った鉄骨の骨組みの中に挿入するパターンか、規格だけ守ったコンテナ風パチモノパターンしか活用方法がありませんでした。本計画では、ヨレ感の味わいがある外観を損なうことなく建築物とするために、木造の骨組みをつくり、構造検討を行いコンテナを外皮扱いすることで法的にもクリアな物にしました。また、コンテナを2棟に分棟することで中庭をとり、下町の休憩所のようなスポットをつくりました。ギャラリーは開放的でふらっと立ち寄りたくなるような場所にしています。

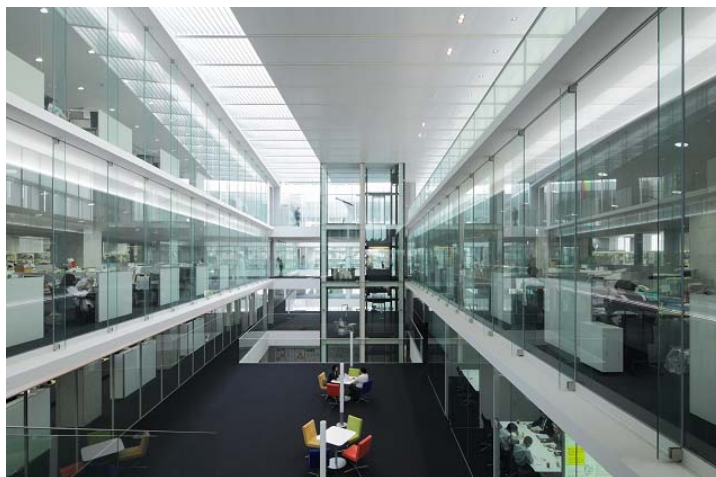
◎ 事務所・店舗

東京都

作品番号：034

GC R&D CENTER

- 所在地：東京都板橋区蓮沼町
- 設計者：米田 浩二（東京建築士会）
- 勤務先：鹿島建設株式会社 建築設計本部
- 施工者：鹿島建設 東京建築支店
- 建物用途：事務所・店舗
- 構造・階数：RC造、一部鉄骨造 4階、屋上1階
- 敷地面積：5,275.36
- 建築面積：2,965.65
- 延床面積：9,769.53
- 施工：平成24年8月31日



歯科医療総合メーカーの研究開発拠点。

7棟の既存研究施設を3期9年で1棟に建て替える「居ながら再構築」。分割された組織の集約化と周辺住宅への配慮から外部に閉じ内部に開く構成をとり、アトリウムを介して建物全体を有機的につなげた「コミュニケーションループ」を形成し、知的生産性を高める「発想の場」づくりを目指している。